



うさぎぐみだより

令和5年11月24日(金)

幼保連携型認定こども園

津田このみ学園 今在家分園

日が落ちるのが早くなり、秋から冬への季節の変化を感じます。津田公園に出かけると、赤や黄色に染まった葉っぱや、ドングリが落ちており、秋の深まりを子どもたちと一緒に感じています。秋にしか見られない自然物を目をキラキラさせながら、夢中になって集めています。



ドングリコロコロ ♪

秋の自然物を見つけに津田公園へ行きました。歩道橋を初めて渡る子どもも多く「てすりをもつ」「友達を押さない」と安全に渡れるようルールを確認します。階段を上りきると、足元を通過する車の小ささ、近くで見ると大きい信号機、いつも見る景色とは違うことに気づいていました。

津田公園の地面には色づいた葉っぱが積もっており、「きいろいはっぱみつけたよ」「てとおなじかたち」など色づいた葉っぱや色んな形の葉っぱを拾っています。Aさんは、落ち葉の上を歩くと、シャカシャカ音が鳴ることに気がつきました。ジャンプしたり、走ってみたり、音の違いを楽しんでいました。Bさんは散歩バックにドングリや葉っぱを入れて、上下に振り音の違いを楽しんでいます。ドングリコロコロと歌い始めたBさんに合わせて、他の子どももバックを振り、歌と一緒に楽しんでいました。

持ち帰ったドングリに絵の具をつけ、箱の中で転がして絵を描きました。Cさんは色のついたドングリが転がる様子を見て、同じように寝転がり、ドングリになりきって楽しんでいました。また、ドングリになりきって遊ぼうと思います。



楽しかったね、どうぶつえん

先日はお忙しい中、親子遠足に参加くださり、ありがとうございました。お家の方と過ごす子ども達は、園生活で見せる元気いっぱいの笑顔とは違い、穏やかで心から安心している柔らかな表情をしていました。わらべうたをしている時は特に喜んでいましたね。抱っこを求めたり困らせたり甘えることもあったと思いますが、自我を存分に出せることはとても大切だなと感じました。

遠足の間、少しですが友達同士のかかわりも見られたのではないのでしょうか。園では友達の名前をよんで遊びを誘ったり、困った子を助けてあげたり、他者への思いも出てきています。これは自分のことがしっかり認められ安心できているからこそ、相手の立場にたって考えられている証拠だと思います。このように子どもの社会を通していろいろなことを学ぶ中で、迷ったり困ったりすることはありませんか？私たち保育者もお家の人と一緒に子ども達の成長を考えていきたいと思っていますので気軽にご相談くださいね。



お家の人の連絡帳から

• 楽しい遠足ありがとうございました。メダル裏のスタンプラリーが楽しかったようで自らここで写真撮る！見せよと言っていました。また、行きたいと何度も言っていました。



• 久しぶりの動物園に懐かしさを感じながら、めいっぱい楽しめました！園内マップを見ながら、どこにいるのか、どの動物の所に行きたいのか、理解して道を選ぶことができていることにびっくりでした！

• お天気もよく、お友達やお父さん、お母さん達と一緒に動物園を楽しむことができ、親子共々嬉しかったです。